

「リサーチ・アドミニストレーターを育成・確保するシステムの整備  
(スキル標準や研修・教育プログラムを活用した人材育成)」シンポジウム

# 今、大学に求められる研究経営システム改革

平成27年3月14日



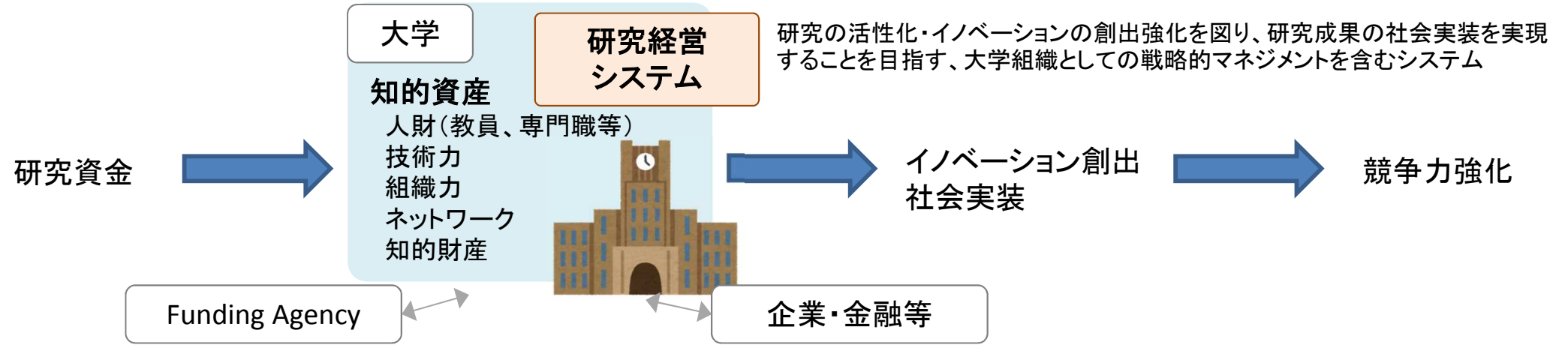
文部科学省

科学技術・学術政策局 産業連携・地域支援課 課長  
坂本 修一

# 競争力強化に向けた大学知的資産マネジメントに関する検討の方向性

## 【概略】

大学が、技術シーズ創出能力、課題解決能力を戦略をもって成長させ、企業・投資機関等のパートナーにとっての魅力度を自ら高めていくための研究経営システムを構築していくことを目指し、大学の知的資産を競争力に結びつけるための戦略的マネジメントの在り方を検討する必要性。



## 【現状・課題】

- ・大学の知的資産(研究リソース、知的財産、人的リソース等)の活用を、大学自身が戦略性を持って行っていない状況。
- ・教育・研究成果の社会への提供が大学の使命の1つであるにも関わらず、産学官連携(共同研究、社会実装等)が大学経営の一部として重要視されていない状況。
- ・日本の大学組織特有の事情(パワーバランス、制度の硬直化等)が、改革の足かせになっている可能性。
- ・産業界側と大学側との間に、産学官連携に対する期待や意識の相違があり、産学官連携活動の障害になっている可能性。
- ・国の委託研究開発(国プロ等)による研究成果を、イノベーションに結び付ける戦略的な知財マネジメントが欠落。

## 【検討事項】

- ・研究経営システム(Research management & administration system)の在り方(人的、技術的資源を最大限活用し、成果の社会還元と自らの成長のための資源獲得の両方を追求)
- ・組織としての戦略的マネジメントを実現するための大学自身(経営層、教員等)の意識改革(例えば、評価の在り方)
- ・大学における知財マネジメントの在り方(例えば、オープン&クローズ戦略、既存企業へのライセンスモデルと大学発ベンチャー創業)
- ・コーディネータ、URA等マネジメント人財の一体的なシステム強化・イノベーション・エコシステムを機能させるため、多様なステークホルダーの大学への関与の在り方(例えば、産学相互の意識改善等)
- ・国の委託研究開発(国プロ等)の知財マネジメントに対する、Funding Agency等の積極的関与

# 大学を核としたイノベーション・エコシステムの形成

[イノベーション・エコシステムとは]

生態系システムのように、それぞれのプレイヤーが相互に関与してイノベーションを創出するシステム

科学技術・学術審議会 産業連携・地域支援部会 産学官連携推進委員会(平成23年9月)



## [イノベーションを巡る相互作用] ※

大企業が、高度な技術を集積した製品を世界市場へ展開する。その上流の研究開発を大学等が支え、具体的な製品開発段階を新興企業やもの作り系中小企業が支える。政策当局は新しい技術・産業ビジョンを産業界に示し、新陳代謝を促す。

# 「産業は学問の道場である」

## 本多光太郎博士

### 【年譜】

- 1901年 東京帝国大学理科大学講師
- 1907年 独 ケッチンゲン大学留学
- 1911年 東北帝国大学理科大学創立。教授就任
- 1916年 KS 磁石鋼発明
- 1919年 東北帝国大学附属鉄鋼研究所(後の金属材料研究所)  
初代所長就任
- 1931年 東北帝国大学総長に就任
- 1933年 新 KS 磁石鋼発明
- 1949年 東京理科大学初代学長



# 「産業は学問の道場である」の現代的意義

厳しい経済情勢の中、“価値創造”が日本の経済発展の鍵を握る。常に世界の一步先を行く先端技術シーズの創出とその事業化を、分野やセクターの壁を超えて、日本の総力を結集して進めて行かなければならない。

- ▶ 大学等が自らの持つ優れた知識・技術をタイムリーに、効果的に価値創造に組み込むことは、社会的使命を果たす上で不可欠ではないか。
- ▶ 産業界が持つ技術課題には、学問分野の再構成による新たな科学的アプローチを持って解決すべきものが数多く存在。大学等は、産業界との協働を通じてこのような科学の新領域開拓にもっと踏み込むべきではないか。

深刻な財政難により、国の研究開発投資についても、選択と集中が今後ますます強まると想定。その中で、大学等がこれまで築き上げてきた知識基盤・研究インフラをいかに発展させていくか。

- ▶ 大学等においても限られた資源の戦略的マネジメント強化、その一環として産学連携による民間資金の導入拡大を図ることが不可欠ではないか。

大学等には、研究経営システムを抜本的に強化し、イノベーション・エコシステム形成において中核的役割を担うことが求められている。